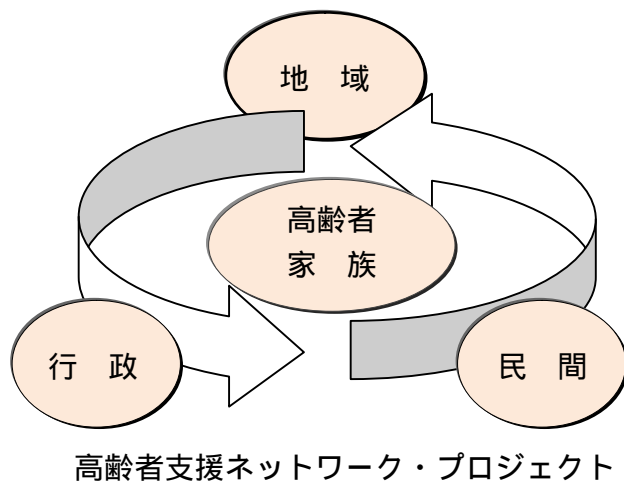


【資料 2】

高齢者支援ネットワークの構築に向けて



奈井江町

(H23. 6. 9 作成)

なぜ今、高齢者を支援するネットワークづくりが必要なのか

高齢者人口～ 高齢化 “率の速さ” から、高齢者 “人口の多さ” の問題へ

○ 2011 年 3 末の奈井江町の人口 6,285 人

このうち 65 歳以上の 高齢者 1/3 (2,165 人) ...10 年後には 40% へ

・ 高齢者のみの世帯は、全体の 1/2 (1,400 世帯)

このうち独居世帯は、全体の 1/4 (448 世帯)

高齢者の生活や介護の不安の解消に向けて

- | | | |
|--------------|---|---|
| ・ 行政の施策 | } | この 3 つを有機的に結びつけながら、町民全体が連携し、
共に支え合うネットワークの実現を考えていく
→ 高齢者支援ネットワーク・プロジェクト |
| ・ 民間事業者のサービス | | |
| ・ 地域コミュニティ | | |



高齢者支援ネットワーク懇話会 の設置

検討の方法とスケジュール

○今年度は、2 ヶ月に 1 回程度の開催を予定

- ・第 1 回（6 月） 現状の奈井江町の取り組みや町民の参加の確認、 自由討議
- ・第 2 回（7 月） 今後の目指すべき方向性（行政サービス） 自由討議
- ・第 3 回（9 月） 前回のまとめ、今後の目指すべき方向（民間サービス・団体の取り組み） 自由討議

《10 月～ 先進地視察、町内関係各種団体への周知ほか》

- ・第 4 回（11 月） 新たな取り組みの検討（H24 予算への反映）
- ・第 5 回（2 月） 前回のまとめ、継続的に検討を要する事項
- ・第 6 回（5 月） 新たな事業の展開、1 年間の集約、今後の議論のあり方
 - ・
 - ・
 - ・

説明資料 目次

1. 現状の取り組み

- 奈井江町の計画 …………… 4
- 行政サービス …………… 5
- 地域コミュニティ …… 11

2. 検討の視点

- 高齢者が安心して暮らしていくために …… 13

1. 現状の取り組み

奈井江町の計画

- まちづくり計画 後期 実施計画（H22～26 年度）
- 過疎地域 自立促進 市町村計画（H22～27 年度）
- 高齢者 福祉計画（第 4 期 H21～23 年度）
- 障がい者福祉計画（第 2 期 H21～23 年度）
- 介護保険事業計画（第 4 期 H21～23 年度：空知中部広域連合）

* H24 年度 介護保険制度 改正における対策

『孤立化のおそれがある高齢 単身・夫婦のみ世帯』の支援

24 時間地域巡回・随時訪問サービス、高齢者向け住宅、認知症支援策の強化

■行政サービス

生活環境【施設・住居】

○介護保険施設（H23 年 5 月現在）

- ・やすらぎの家 定員 50 人 <入所者 50 人・待機者 108 人（うち在宅 15 人）>
- ・健寿苑 定員 52 人 <入所者 50 人・待機者 34 人（うち在宅 11 人）>

定員 52 人に短期入所を含む

- ・町立国保病院（介護療養型施設）病床数 30 床

○公営住宅～ 管理戸数 550 戸（うち入居者 485 戸）

入居者のうち 65 歳以上 1/3

桜ヶ丘団地に「シルバーハウジング」14 戸（週 5 回 援助員 訪問）

○高齢者専用 居住施設

- ・生活福祉センターひだまり

定員：単身 12 人（待機 9 人：要介護認定 非該当者ほか） 夫婦部屋 8 人（4 室：空室 1）

- ・老人福祉寮（かおる荘）定員 7 人

民間住宅建設事業にて助成金を交付 <1 戸当たり 40 万円～50 万円>

高齢者対応～ 1 戸あたり 10 万円の上積み

【生活交通】

町営バス ～ 赤字路線廃止後の対応

・向ヶ丘線 1日 5.5 往復 ・浦臼奈井江線 1日 5 往復

福祉バス～ 温泉への定期運行、各種団体利用

H22 運行実績～ 143 日 <温泉～ 63 日、 その他～ 80 日>

スクールバス 車両 2 台

H22 運行実績～ 通常運行 各車 210 日、その他の運行 2 台 合計 75 回

■ 保健医療福祉

【主な介護在宅サービス（含む 予防サービス）】

訪問系サービス

訪問看護（町立病院、町内診療所）

《民間》訪問介護（ジャパンケアサービス） 訪問入浴（町外事業者）

通所系サービス

通所介護（やすらぎの家 1 日定員 20 人）通所リハビリ（健寿苑 1 日定員 15 人）

短期入所系サービス

短期入所 生活介護（やすらぎの家 病床数 10 床）

短期入所 療養介護（健寿苑 病床数 52 床の中で利用可能）

その他

住宅改修、福祉用具貸与

《民間》グループホーム（かわせみ 定員 18 人）

町民の自主活動、自主組織

- ・ 家族介護を語ろう会
- ・ SOS ネットワーク

【主な福祉サービス】

相談員

身体障がい者相談員（兼 北海道地域相談員）1 人、知的障がい者相談員（兼 北海道地域相談員）1 人

《民間等》

社会福祉法人 奈井江学園

障がい者支援施設 ないえ（施設入所支援：定員 50 人、生活介護：定員 40 人）

短期入所事業所 あっとほーむ（定員 4 人）

就労支援センター すまっしゅ（定員 30 人）

地域移行支援センター キラリ（就労移行支援：定員 15 人）、スマイル（自立訓練（生活訓練）：6 人）

グループホーム・ケアホーム みどり荘（みどり荘：6 人、ききょう：6 人、あじさい 6 人、アルク：10 人）

居宅介護・行動援護事業所サポートセンター ぼすと（居宅介護、行動援護、地域生活支援事業）

社会福祉法人 北海道拓明興社

障がい者支援施設 北海道拓明興社（施設入所支援：定員 30 名、生活介護：定員 30 名）

NPO 法人 やわらぎ会

地域活動支援センター 共同作業所 和（地域生活支援事業：定員 10 名）

（株）ジャパンケアサービス

ハッピー奈井江（居宅介護、重度訪問介護、地域生活支援）

【主な保健事業（介護予防・健康づくり関係）】

高齢者体力づくり教室

トレーニング機器を活用

3 ヶ月間 24 回開催 98 人利用

運動フロア事業

トレーニング機器を活用

83 人（延べ 1,087 人）

ひまわりクラブ

保健センター、東町生活館、南町コミュニティ会館

年 12 回開催 205 人

かんたんリハビリ教室、ストレッチ、体操、講話ほか

ストックウォーキング教室（年 1 回 13 人）

チェアビクス教室（年 6 回 78 人）

各地区運動教室（年 12 回 134 人）

健康づくり応援団事業

（年 4 回：健康づくりリーダー養成）

保健推進委員（78 人）

町民の自主活動、自主組織

・チェアビクスサークル（週 1 回 17 人）

・ストックウォーキングサークル（週 1 回 15 人）

・元気コツコツ筋トレサークル（週 2 回 30 人）

・食生活改善推進協議会（年 6 回 32 人）

・男性の料理友の会（2 ヶ月に 1 回 22 人）

【地域包括支援センター 主な事業】

介護サービス等 保健医療福祉 全般にわたる相談窓口

介護予防支援（サービスプランの相談、作成）

緊急通報装置の受付、設置（あんしんホットライン 59 台）

認知症サポーター養成（年 2 回 40 人、延べ 143 人）

介護保険出前講座（年 11 回 262 人）

【医療関係】

町立病院

- ・ 内科、整形外科、眼科、小児科
- ・ 病床数 96 床（一般 46 床、医療療養 20 床、介護療養 30 床）
- ・ 常勤医師 内科 4 人、整形外科 1 人

町内診療所

- ・ 医科 3、歯科 3

特色

- ・ 地元開業医との病診連携事業、砂川市立病院との病病連携事業

■地域コミュニティ

【社会福祉協議会】

- ・小地域ネットワーク活動（H11～） 35 チーム（7 行政区が未実施）
- ・在宅老人給食サービス事業 利用者 20 名
- ・シルバー人材センター 登録 27 名
- ・ボランティアセンター 登録 44 団体、4 学校、個人 3 名
- ・救急医療情報キット配布事業 平成 23 年度から実施（現在 80 件）
- ・地域福祉権利擁護事業 福祉サービス利用 日常的金銭管理サービス 書類等の預かりサービス

< 参考：連合区・行政区数 >

連合区	世帯数	行政区	連合区	世帯数	行政区
北 町	473	1～6	瑞 穂	50	1～4
本 町	546	1～10	大 和	71	1～7
東 町	456	1～7	白 山	33	1～3
南 町	613	1, 2 甲, 3～8	巖 島	24	1～2
向ヶ丘	53	栄町・向ヶ丘	宮 村	41	1～3
住友新町	9		茶志内	105	1～4, 6～9, 2 甲乙, 4 甲
			高 島	75	1～2, 6～7

【生きがい対策・社会参加・生活支援】

- ・老人入浴券配布 対象 65 歳以上 10 枚、 60～64 歳の老人クラブ加入者 5 枚
- ・敬老会の開催 対象 729 人（80 歳以上） 参加者 223 人
- ・間口除雪サービス 利用者 24 件
- ・寿学級 188 名参加（年 11 講座）
- ・福祉灯油 対象 72 世帯

【老人クラブ連合会】老人クラブ運営、活性化助成

- ・単位老人クラブ 20 加入者数 1,312 人（加入率 48％）
（町との共催事業）
- ・老人スポーツ大会、老人のつどい

【民間事業者】

- ・ふれあいネットワーク（商工会）
電話で依頼を受けての宅配（無料） 除雪、犬の散歩、ごみ出し、引っ越し手伝いほか
- ・配達サービス（JA 新砂川） 農協で購入したものを町民宅に配達（無料）
- ・移送支援サービス 福祉タクシー（町外業者）車イス対応の自動車による移送
- ・給食サービス 社会福祉協議会、新ないえ温泉、町外業者

2. 検討の視点

高齢者が安心して暮らして行くために

・ 高齢者あるいは、その家族のニーズはどこに

・ 行政サービスの新たな施策の展開は

・ 町内各団体、民間の役割は

・ 地域コミュニティ等の活性化は

< 行政サービスの拡大 >

- ・ 健康づくり
- ・ 生活弱者対策
- ・ 認知症対策
- ・ 住宅の確保
- ・ 買物難民対策
- ・ 地域公共交通
- ・ 高齢者生きがいづくり

< 地域コミュニティの再構築 >

- ・ 各行政区の役割
- ・ 社会福祉協議会と地域の連携による事業
- ・ 老人クラブ等の活性化
- ・ 商工会、JA 新砂川など、企業による高齢者支援事業
- ・ 自治会（町内会）の活性化